

け度いと思ひます。帽子のゴムひもやエプロンなごをしゃぶつたり、上衣を投げたり、手さげ袋をふりまわしたりしないこと、そのやうなくせのある子ごもは一人一人根氣よく注意します。自分のお道具箱や帖面の使ひ方はその使ふ最初の際に使ふ順序やしまひ方を教へて習慣つけるやうにしませう。きちんさしななければならぬといふやうに、但し神経質でなくさうなるやうにきちんさするくせに、度いと思ひます。幼稚園のみんなで使ふ用具はみんなの、いふ事で大事に使ふやうに氣をつけませう。ブランコ、滑臺なごはもごより、繪本、積木等まで、らんぼうに投げたりふんだりしないやうにし度いと思ひます。靜に使つて元氣に遊ぶのがいゝのだといふ事を知らせ度いと思ひます。みんなのものと言つて大切に氣をつけて、しかもそれで樂

本をみる躰

入園したばかりの頃、見送りのお母様ごはやうやく離れられるやうになつたものゝ、まだお友達ご一しよの遊びに入つてゆかれないはにかみやさん、「遊びませう」と誘つて

しく遊ぶ習慣ごいふやうな事は小さな事かも知れませんが、團結ごいふやうな氣持の淡いものがこんな所にある様に思はれます。

斯うして考へてみますごみんなに躰の上に環境が大切かがわかつて來ます。よい習慣はよい環境からです。人も環境の内である事は勿論です。

以上は幼稚園に入つた始めについて考へたのですが年がかはつて大きくなつた始めごいふのは又躰の上で絶好の機會ご言へるかと思ひます。大きい組になつたごいふ喜びご自負を一ぱいにふくらましてやつて自重ご勵ましを躰へのすべての部分で與へたいと思ひます。

附屬幼稚園 志村貞子

も首を横に振る子供が、「御本をみませう、いらつしやいな」と誘ふご大抵ついてきます。「ごの御本をみませう」お返事なし。「これみませうね」。一冊をさりあげてお話をし

ながらみてゆく。大好きな汽車が出てきました。眼を輝かせたAちゃん、「キシャ」はじめてお聲が出てきました。

「さう汽車ね。Aちゃんは汽車に乗ったことあるの?」「うん」「さう、さうへいさつしやつたの?」「田舎」「い、い、いね。さなたさいらつしやつたの?」「お父様とお母様さ、赤ちゃんさ、Aちゃんだんくお口がほぐれてきました。

こんなお仲間が大勢で先生が一人一人のお相手の出来ないう時もあります。誘はれたBちゃん椅子にかけて本をひろげるさだまつてみます。終りまでみてしまふさ、まだみない本ささるかへます。お仲間が三人、四人、「さりかへて」「僕これみたら君にあげる」なごさ、こゝでもだんくにお友達同志のお口がほぐれてきました。

幼稚園にすつかり馴れて、元氣に遊ぶやうになつた子供達、ふやし鬼、開戦ごつこに汗になるさ一やすみ、お部屋や樹蔭なごに集つて本をみます。すつかり静かになつたと思ふさ何時の間にか小さな頭を寄せて本をみる。愉しんでみます。兵隊ごつこの一隊も足を止めてのぞきこんでみます。そこでは本を中心に活潑な話合ひがはじめられるのです。

子供達はもうはつきりさ「先生、この本よんでちようだい」「好きな本を選んで持つて來ます。本當に面白さうに、

或時はごつこ聞き入り、或時は活潑に話しかけながら本を愉しんでみます。

子供達は實に本が好きです。その繪を見て愉しみます。話しあつて愉しみます。そのお話をきいて愉しみます。文字に興味が出て來るさ自分で讀んで愉しみます。本は子供達の親しいお友達であり、それだけにまたその與へる影響も非常に大きいのであります。従つて先づ如何なる本を與へるかが重大な問題になるこは申すまでもありません。しかしこゝではこれは別問題として、與へられた良い本を如何に見るべきか、且、見るやうに見せるべきか等の問題について二、三記してみようと思ひます。

「本をみる」さ申しました。國民學校に於ける國民科國語の指導は、讀方、綴方、書方、話方の四分節に分けられてをり、しかもこの四が互に相連繫して、密接不可分の關係をもつてゐるのであります。

「本を見る」こゝに國民學校さは程度こそ違ひますがこれだけの廣さを與へて考へたいと思ふのです。即ち「本を見る」こゝの中に、讀んでもらつて聞くこゝ、繪をみるこゝ、繪について亦お話について話すこゝ、更に進んでは字を讀むこゝ、或は書くこゝ、等が相互に密接な關係を以て考へられるのであり、延いては大きく言語修練、生活訓練にも

結びついてくるのであります。

○お話はよくきゝませう。

人の話を注意してよくきゝこいふことは何につけても大切なことであります。よく聴く態度を養つてゆきませう。

それには先づ落着いてはつきりごわかりやすく、興味をもつてきけるやうに話すこと或は讀むこと、先生や母親がよく聴く態度の出來た人であること等、先は此方に向いて來ます。よく聴ける子供は言語が豊かになり従つて生活も亦豊かになります。

○落着いて、よく見ませう。

幼児に與へる本には讀む部分と共に、見る部分即ち繪が大切な役割を持つて居ります。その繪がどんな事柄を表現してゐるかこいふこと、また、かゝる事柄を表現するにはかういふ繪によればよいこいふ事、また繪によつて新しいものゝ形や色を知る事等々が渾然と一になつて幼児に働きかけてをります。お話をきゝながら繪をよく見てゐる子供は字が讀めなくてもやがて繪によつてその話をすつかり自分で話すやうになります。又自分の經驗等を繪にまごめて表現する事も出來るやうになります。しかもその爲には正確な觀察が必要でありますから、本の繪をみるこことによつて養はれたかうした態度はすべてものを正確に明瞭に見るこいふ態度を培ひ見聞を廣く深くし生活全體を廣く豊かに

するものであります。本を見るのに落着きなく次々頁をめくつて見たり、順序を無視して平氣な子供がおります。

かゝる場合には、その子供の好む本を少數與へ大人が話し方に工夫し話そのものに興味を持たせ、また繪に注意をむけるやう繪についての面白い説明、子供との話し合ひをするなご本を見るこことに興味をもたせつゝゆつくりこいていねいに見せるやう心遣ひがなくてはなりません。子供と共にみながら二三頁さばして平然としてゐたり、自分のみる速さでさつさ見ていつたりするお母様や先生はいらつしやらないここと思ひますが。

○はつきりご落着いてものをいひませう。

本によつて自然の中に語り合ひこいふこことがよく爲されます。これを適正に指導することによつて種々の効果をあげ得るのであります。こゝでは先づはつきりご落着いていふこことを舉げましたが、漸次發音の矯正、語法の訓練等へ導いてゆけますし、これを更に言葉の生活即ち日常の挨拶、應答等に活用すること出來るやうにします。本による語りあひから正しい國語の修得にまで導いてゆくには指導に當るものゝ根氣、指導者自身の正しい國語の使用が絶對に必要であります。

なほ特に言語發表を嫌つたり、憶したりする子供がありますが、本による語りあひに、極めて自然の形において、

これらの子供の興味を喚起し、話の誘導をたすけるものと思はれます。特に氣長な指導を以て、話すことに興味を自信をも持たせ、氣輕に話すやうに仕向けてやる心づかひが大切であります。

○お行儀よくみませう。

本をみることは日常の挨拶、返事等言葉の生活へ結びついてくると同時に行儀、作法の修練へも結びついてきます。本をみる時の姿勢、本の扱ひ方等であります。これ等についてはすでによく御承知のことでありますが、前同様大人の態度が影響するところが大きいのでありますから、扱ひ方にしても、大切にしないさいといふだけでなく、破れ

遊戯による躑

今度、學徒體育訓練實施要綱の發表に依れば、その基本方針としては、戦力増強、聖戰目的完遂を目標とし、學徒の體力、健康状態等を考慮し、適切なる訓練により、強健なる者を一層鍛鍊するに共に強健ならざる者の強健化に力めつゝ、強靱なる體力を不撓の精神との育成に力むること、然して訓練は平素より普及強化徹底せしめられること。

たら繕ふことも子供さしよにやり、後始末をよくこいふことも、先づ子供達にしまひやすいやうなしまひ場所を與へておいてから要求すること、心なき大人のする廢物になつた本の扱ひ方が、子供達をして本を粗末に扱はせる動機になることも考へて慎重にすること等、心すべきことが多いのであります。

以上申し述べましたところは甚だ不十分であります。本をみる「こ」が子供達に及ぼす影響の頗る大きく、廣く且深きにわたることを十分お考へ下さいまして、「本をみる」のよき躑を幼児達のために躑けて下さるやう希みます。

附屬幼稚園 古澤 静子

又特に男子學徒に在りては、卒業後その凡てが、直ちに將兵として役立つことに必要な資質の鍊成にある。云ふのである。

この要綱は勿論學徒を對象としたものであるが、基本方針は、大切な幼児の身體鍊成の上にも及ぼし考へられねばならないと思ふ。